

やっぱり 看護が好き

vol.

73

2021. 3.1

Interview

院外の貴重な体験で、看護の幅が広がる。 新型コロナ宿泊療養施設での看護師の仕事

東京都健康長寿医療センター 園田都美子さん、糸井進司さん



ナースバンク通信

COVID-19支援の人材確保

未来のナースを応援します！

高校生のための一日看護体験セミナー

column

患者さんと家族の懸け橋となるために
～まちだ丘の上病院での試み～

シリーズ 仕事力をつける！

2021年度ナースプラザ研修のご案内

私の復職ストーリー 第5回

墨田中央病院外科病棟
青木利江子さん

Interview

その だ と み こ 園田都美子さん いと い しん じ 糸井進司さん

東京都健康長寿医療センター

東京都は新型コロナウイルス感染症(以下、新型コロナウイルス)の軽症および無症状の感染者を対象に「新型コロナウイルス感染症の軽症者等の宿泊療養」を行っています。東京都健康長寿医療センターでは、2020年4月中旬から宿泊療養施設を支援し、看護スタッフを派遣しています。

今回はその看護スタッフを統括・管理する園田都美子師長と、宿泊療養施設での看護リーダーを務める糸井進司主任に、仕事内容や看護師の役割、やりがいなどを伺いました。



園田都美子さん

脳神経外科などの外科混合病棟の病棟師長。このコロナ禍でマンパワーの確保と宿泊療養施設の支援等により病棟閉鎖となり、2020年8月より、宿泊療養施設5施設の看護スタッフの統括・管理を担当。

糸井進司さん

消化器外科、消化器内科病棟を経て、現在は外科混合病棟の主任。2020年8月より宿泊療養施設2施設の看護リーダーを経験し、療養者の健康管理およびスタッフのとりまとめを担当してきた。



院外の貴重な体験で、看護の幅が広がる。 コロナ禍の医療最前線で働けるやりがいも大きい

療養者とは電話で症状を確認。 24時間の健康管理を行う

一宿泊療養施設での仕事内容を教えてください。

園田 療養者の24時間の健康管理が主な業務です。1日2回、療養者自身が測定した体温と脈拍、酸素飽和度の数値と症状に関するデータを、在宅支援向けの健康観察アプリに入力していただいています。そのデータを見ながら、看護師が毎日午前中に療養者一人ひとりに電話をかけ、症状の変化を確認

しています。その場合、最も重要な項目が発熱・呼吸器症状ですが、そのほかに基礎疾患やBMIなどの重症化リスクも含め総合的に判断し、宿泊療養を続けるのか、入院するのかを医師と1日3回のミーティングで話し合います。

一その中での、お二人の役割は何ですか。

糸井 当センターは現在、都内の5施設の宿泊療養を担当しており、私はそのうち主に2箇所の施設リーダーを経験しました。リーダーとして看護師のとりまとめを行うと同時に、私自身も療養者に電話をかけるなど、健康管理を行っています。

園田 私は師長として、当院が受けもつ5施設の宿泊療養施設での看護業務の統括管理をしています。当センターからは30名の看護師が5施設に派遣されており、ナースプラザや人材派遣会社からの看護師と一緒に、健康管理業務を担っています。所属は異なりますが、この宿泊療養施設で働く看護師が、安全な健康管理業務を行えるよう、日々情報共有をしっかりと行い、支援することも大切な役割です。



社会経験豊富な先輩看護師から 学ぶことも多い

一病院との違いでご苦労されたことは何ですか。

糸井 宿泊療養施設は医療施設ではないので、普段の通常業務で直接ケアをすることはありません。常に電話を通してのやりとりなので、顔や症状が見えない人の健康状態を観察することが一番大変ですね。ただ話を聞けばいいというわけではなく、声のトーンや息遣いなどから、電話口での療養者の様子を想像し、入所してきた経緯や内服している薬、既往歴なども含めて、総合的に判断するようにしています。

園田 師長の立場としては、病院なら看護師同士、みんな同じ空間で一緒に働いて、コミュニケーションを取りながら、顔を見てさまざまなことを話し合い、判断することができます。しかしここでは何かを伝えるにも当センター看護師30人が5箇所と場所が離れているため、主にメールか電話、リモートでの会話となります。また、宿泊療養施設での経験を希望している看護師が多くおり、希望を叶えるため、毎月メンバーが替わるので、その中で全体をどのように管理していくかがとても難しいところではありますが、日々工夫しながらコミュニケーションを取っています。

一療養施設での経験を通して、看護の新たな気づき、やりがいは何ですか。

糸井 病院では患者さんの顔色や表情、しぐさなど、五感をフルに使いながらアセスメントしていたのだと、改めて気づきました。また、検査データやカルテもあり、情報がそろっています。それがここでは、主に電話の問診だけで情報を得なければなりません。日々の健康管理業務の中で、それぞれ多種多様な経歴のある看護師方の話を聞くと、療養者の情報を引き出すために、いろいろな工夫や視点でアセスメントをされており、とて



も勉強になり、看護の幅が広がったように思います。

現在、世界中が新型コロナの感染で苦しんでいる、その医療の最前線で、看護師として少しでも力を発揮できることがやりがいでもあります。

園田 この宿泊療養施設では、感染者の増加等に伴い、月に3～5回以上はマニュアルが更新されています。そのため、初めてこの施設で働く看護師の方々が戸惑わないよう、必ず経験のある看護師とペアで組むよう調整しています。ここでは看護師や医師などの医療スタッフだけでなく、都の職員をはじめ施設(ホテル)の方もいるため、その方々との情報共有や、日々の起きる問題をどのように解決していくのか、試行錯誤の連続です。「こうしたら看護師がより働きやすいのでは」とみんなでアイデアを出し合い、積極的に変えていったことが現場で徹底されていると、うれしいですね。また、健康管理班としての役割を当センターの看護師が主体的に、しっかり果たしていくことが課題でもあり、やりがいです。

一復職を考えている人へメッセージを。

園田 顔が見えない相手に対し、電話の問診からアセスメントするというのは、臨床現場の経験だけではなく、人生のさまざまな経験がとても必要だと感じています。このコロナ禍で今、宿泊療養施設での健康管理には経験豊富な多くの看護師の力が求められているので、ぜひその力をお貸しいただき、最前線で発揮してほしいです。



医師のリモート診察中は、療養者の病状等、情報共有をスムーズにできるよう、看護師が同席する。



毎日、看護師が療養者一人ひとりに電話をかけ、健康状態を確認する。

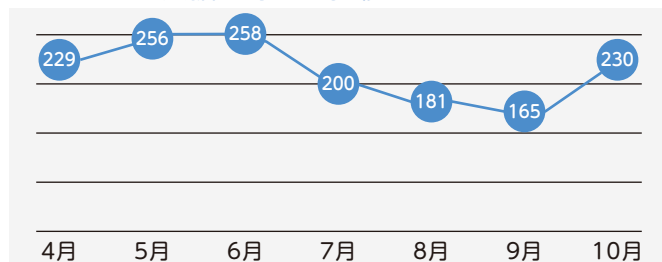


午前9時に行われるスタッフミーティング。ここから療養施設での看護師の1日の仕事が始まる。

● ナースバンクではCOVID-19支援の人材確保に取り組んでいます ●

2020年4月のCOVID-19感染拡大とともに医療崩壊の懸念がマスコミでも取り上げられ、看護職からさまざまなお問い合わせがありました。そこで、ナースバンクではCOVID-19支援の登録を開始しました。

COVID-19支援登録者の推移



(就業が決まった方、就業環境が変わった方などにより、支援者数は推移しています)

2020年10月には、インフルエンザ流行期前の人材確保にむけ、「COVID-19支援登録のお願い」の一斉メールを配信し、再び65人のご登録をいただきました(10月22日データ)。

支援者の年齢層は20代から60代まで幅広く、看護職歴もさまざまです。

ぜひ、COVID-19支援にご登録をお願いします。

お問い合わせ先 ナースバンク東京 03(5309)2065 ナースバンク立川 042(529)7077

支援者登録をいただいた看護職の皆さまには、COVID-19特化求人が出た際にメールで情報提供をさせていただきます。

COVID-19特化求人の状況

2020年7月以降は、感染状況や社会情勢から「宿泊施設」「保健所」「検疫所」などの求人となっています。COVID-19特化求人は短期間の雇用です。就職活動中の未就業の方、いまは臨時(非常勤)で働きたい方などにもマッチングする求人があります。気になった求人があれば、ぜひご応募ください。

2020年4～10月のCOVID-19特化求人への応募数は約400人で、110人以上の方が実際に就業されています(延べ数)。

■就業把握数(延べ数) 抜粋

施設形態	病院	保健所	宿泊施設	検査機関	検疫所
就業把握数(人)	19	27	56	3	7

COVID-19特化求人は東京都ナースプラザ ホームページでもご紹介しています▶
eナースセンターよりご応募ください。



患者さんと家族の 懸け橋となるために ～まちだ丘の上病院での試み～



看護部長
川崎真理子さん



経営企画室長・
人事課長
加納一樹さん

一般財団法人ひふみ会 まちだ丘の上病院
東京都町田市小野路町11-1

コロナ禍における面会中止の中で、 病院をあげてオンライン面会を実施

町田市郊外の「まちだ丘の上病院」は、2020年4月の新型コロナウイルス感染症の第1波で、東京都に緊急事態宣言が出されたとき、同院も面会中止になりました。その時の様子を看護部長の川崎真理子さんは次のように話します。「当院は療養型で長く入院されている高齢患者さんが多く、家族との面会がとても大切です。看護師だけでなく他職種からも『何とか家族と会うことができないか』という声があがっていました」

そこで事務部門が中心になり、オンライ

ン面会を始めることになりました。敷地内の病棟とは離れた場所にあった部屋を家族の面会室にして、病室の患者さんとパソコン画面を通して面会します。一方、病室では寝たきりや、パソコンを操作できない患者さんが大半なので、看護師やコメディカルが患者さんにタブレットを向け、家族と話せるようにサポートします。

「できるだけ家族とは対面で面会していただきたいのですが、現在は町田市の感染状況をみて、週の感染者が20名以上の場合、その翌週の面会はオンライン

東京都ナースプラザでは、2020年9月27日(日)と11月8日(日)にナースを目指す高校生を対象とした、「一日看護体験セミナー」を開催しました。今回は11月8日の体験セミナーの様子を紹介します。



今回の体験セミナーの参加者は59名。応募倍率7～8倍という中から抽選で当選したラッキーな人たちです。そのためか、高校生たちの熱い視線が印象的でした。

第1部はナースプラザの佐藤浩子所長のあいさつから始まり、都内病院の看護師、看護専門学校の学生、ナースプラザの職員の3人から、それぞれの経験やアドバイス、メッセージなどが語られました(写真①)。

第2部は「白衣の歴史」についての講演のあと、参加者が3グループに分かれ、進学相談(写真②)、医療機器の見学や体験(写真③、④)、白衣の試着と撮影(写真⑤)が行われました。皆さん、積極的に参加していました。



ナースバンク相談員による進学相談コーナーです。パンフレットコーナーには、さまざまな学校の入学案内が用意されています。



研修実技体験コーナーです。聴診器の使い方の説明を受けて、自分の胸の音やシミュレーター人形の肺の音を聴いたりしました。



正しい手の洗い方の実技です。手に蛍光塗料を塗った後、洗面所でしっかり手を洗い、紫外線装置で蛍光塗料がどのくらい残っているかを確認します。



白衣の試着・撮影のコーナーでは、色や柄、形もさまざまな白衣の中から好きなものを選んで試着し、各自のスマホで撮影してもらいます。



明治中期から後期、昭和初期、太平洋戦争中などの白衣を展示した「白衣の歴史」コーナーです。



お土産は、ナースプラザのイメージキャラクター・サボちゃんのトートバッグ。今回のセミナーの資料のほかにウェットティッシュも入っています。

column

面会にしています」と説明するのは、人事課長の加納一樹さん。

また川崎さんは、「普段の面会時に看護師がベッドサイドにすることは少ないのですが、タブレットの操作をしながら患者さんの表情を見ていると、家族の声を聞いたとたん目を開けたり、表情が穏やかになったりするので、あらためて家族との面会の重要性を感じました」と、オンライン面会での気づきをあげます。

しかし、忙しい看護師がオンライン面会のたびに患者さんに付き添うわけにもいかないのが、コメディカルが欠かせません。加納さんは、「そこで得られ

た情報は看護師と共有するなど、他職種とのコミュニケーションがより活発になったことがよかったと思います」とスタッフ間のメリットを話しました。

同院では多職種がさまざまなアイデアを持ち寄り、病院をあげて患者さんと家族をつなぐ方法を考えています。オンライン面会のほかにも、クローズドコミュニティのアプリを使い、患者さんのリハビリの様子の動画や、家族の写真をアップして共有するなど、患者さんと家族の懸け橋となるさまざまな試みを実施しています。

(内容は2020年11月13日に取材した状況です)



患者さんのベッドサイドに看護師やコメディカルが付き添い、タブレットの画面を操作しながら、家族とのオンライン面会を実施しています。



家族は院外に設けられた部屋に入り、パソコン画面を通して患者さんと話します。患者さんの顔を見られるだけで、安心される家族も多いそうです。

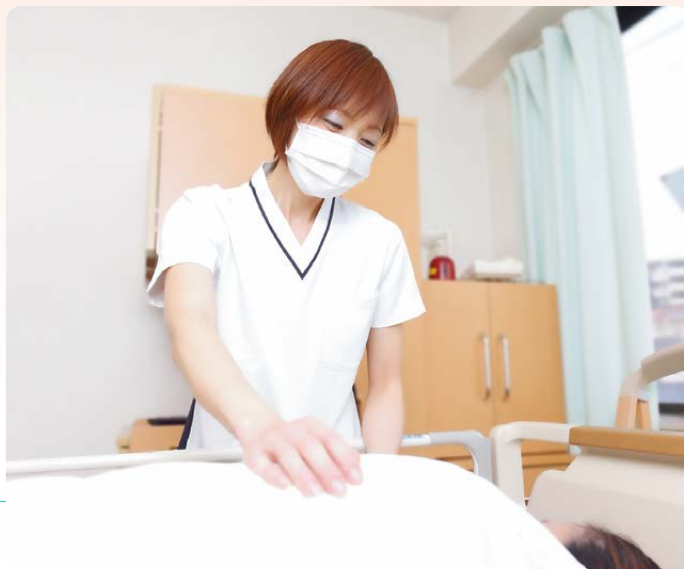
私の復職ストーリー

— 研修への勇気ある一歩で、世界が広がる —

第5回

墨田中央病院外科病棟

青木利江子 さん



看護の基礎が身についていれば、ブランクの長さは気になりません

専業主婦をしながらも、絶対に看護師に戻ると決めていた

子どもが大きくなるまでは、子育てと家庭に専念したいと思っていたので、妊娠を期に6年間勤めた大学病院を退職しました。

一方で、「いつかは絶対に看護師に戻る」と決めていたので、下の子が中学生になった時に看護師に戻るチャンスがきたと思いました。夫も看護師として働くことに賛成してくれました。

とはいえ、15年のブランクがあったので、まずは復職支援研修に参加しました。研修を受けてみて思い出すことが多かったのですが、たとえば翼状針など新しいものが出ていることなど変わっていることにも気づきました。ただ、その変化は医療現場にとって、よい方向への進歩だと受け入れ、特に戸惑いはありませんでした。むしろ研修で病棟の実習をしていて、「早く看護の仕事を始めたい」という思いが強くなりました。

患者さんに笑顔になってもらいたくて、「明るく、楽しく」をモットーに

復職するにあたり、通勤に時間を取られない、自宅近くの当院に入職しました。最初は外来で週4日9～17時の日勤から始めました。

外来では、採血や注射はできましたが、点滴は経験がなく、ほかの人に頼まなくてはなりませんでした。以前働いていた大学病院では、点滴はすべて研修医がしていたのです。そんな心苦しさを抱えていた時、看護部長から「研修を兼ねて病棟で働いてみてはどうか」というお話をもらい、外科病棟に異動しました。

病棟では昔の勘が戻ってきて、少し教えてもらえばできることがたくさんありました。できることが増えると楽しくなってきます。その時、大学病院での6年間で身につけた看護の基礎、臨床経験は私の看護の原点であり、自信でもあると思いました。

病棟での業務では、治療で辛い思いや家族と離れて寂しい思いをしている患者さんに、なるべく笑顔になって、明るい気持ちになってもらえるように、まずは自分が明るく楽しく、いつでも笑顔でケアするように努めています。

復帰してみて、新しい職場のやり方を素直に受け入れて、できることに一生懸命取り組むことが大事だと感じています。知識的なところでは不十分なことも多いので、自己学習を重ねながらステップアップしていきたいですね。



墨田中央病院外科病棟
青木利江子 さん

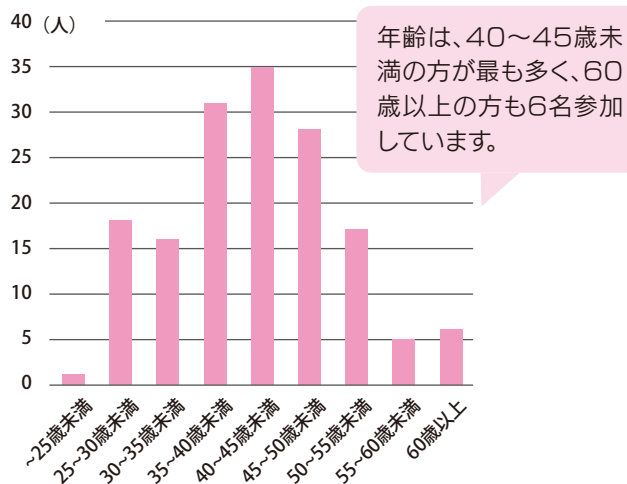
大学病院の消化器病棟に2年、その後、さまざまな病棟を経験し計6年間勤めた後、妊娠を期に退職。15年後に復職支援研修を経て、2019年1月に入職。

東京都ナースプラザの看護師支援事業

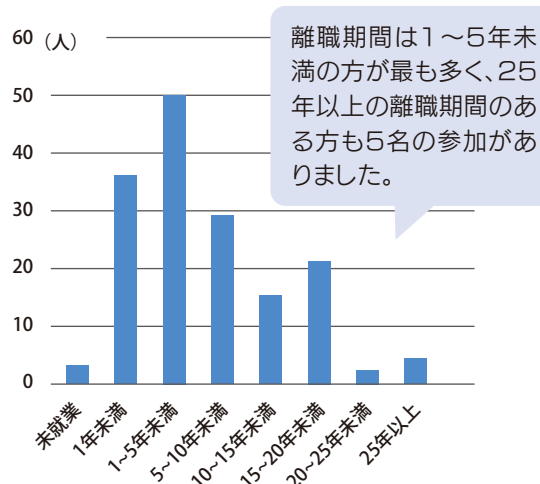
2019年度「手厚くしっかり体験コース」受講者の年齢・離職期間を紹介します

※2019年度の受講者の総数は156名でした。

●受講者の年齢



●受講者の離職期間



年度末までに約4割の受講者が就業しています

2021年度の復職支援研修は7月以降に開始となります。
もう一度復職したいとお考えの看護職の方、ぜひご参加ください。

詳細は東京都ナースプラザの
ホームページをご覧ください ▶▶

お問い合わせはコールセンターまで Tel 03-6276-1718(平日9時～16時30分)



看護部長より一言

お互いの希望をすり合わせ、
働きやすい条件を提示

園田栄子 さん

しばらく臨床現場を離れていると、医療や看護の進歩に不安になる人も多いと思いますが、そこは復職支援研修でしっかりカバーできるので安心してください。当院では本人のバックボーンを考えながら、お互いの希望をすり合わせ、無理のないフレキシブルな働き方を提示しています。なるべく長く働いてもらえるように、きめ細かい配慮をしているので、ぜひ復職していただきたいと思います。



病棟の指導係より一言

復職者の何が不安で、目的は何か。
それを明確にして自信につなげる

松木良恵 さん

以前、ナースプラザの指導者研修に参加し、私なりの指導観を持つことができました。今回、私は初めて当院で復職支援研修を担当しましたが、そこでこの指導観を生かすことができました。復職を目指す方は不安も強いと思います。その気持ちを汲み取り、不安や目的、学びたい点を確認して、どうしたら自信を持って次に進めるのかを一緒に考えながら、「共に学ぶ」ということを大切にしています。



墨田中央病院

【医療法人社団 隆靖会】東京都墨田区京島3-67-1

墨田区周辺の地域住民の健康と生活をサポートする、外科、内科、整形外科、皮膚科など11科目を設置した中規模病院。病棟は97床で、内科病棟と外科病棟に分かれる。

「患者様に優しく寄り添う」ことを看護理念として、救急から周術期、慢性疾患、リハビリテーションまで、「患者さんご家族の希望に合わせた看護」の実践を目指している。

— シリーズ — 仕事力をつける！

2021年度ナースプラザ研修のご案内



社会の高齢化に伴う医療需要がピークを迎える2025年には、188万～202万人の看護職が必要とされています。現在働いている看護職だけでなく、潜在看護士の復職、定年退職前後の年代のプラチナナースの就業継続と、幅広い年代の看護職が、医療・介護の現場で活躍することが期待されています。

2021年度のナースプラザ研修は、研修分類を「就業支援研修」と「定着促進研修」に再編成し、新卒就労2年目までを対象とした研修、各キャリアの段階に応じたキャリアアップ支援研修等を新規研修として計画しました。キャリアに応じて研修を申し込めるようになっています。

感染防止対策に関連する研修を充実

2020年の新型コロナウイルスによる感染症流行を受け、「感染管理」の研修の定員を増員するとともに、新たに「施設における感染管理」、「求職者のための感染管理の基本」を新規研修として計画し、感染防止対策に関する研修の充実を図っています。

リモート研修も開催予定

開催形式は、従来の対面受講だけでなく、Webを使ったオンライン受講の研修も計画に加えています。総研修科目数は58科目、総定員4,493名を予定しています。

研修の詳細につきましては、研修計画(冊子・一覧表)、ナースプラザホームページをご覧ください。皆さまのご応募をお待ちしています。



表紙の写真

国立競技場

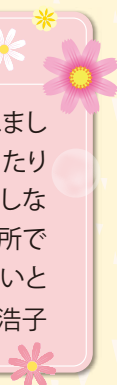
「杜のスタジアム」をコンセプトに木材と鉄骨を組み合わせ設計されており、新しさの中に木のやさしさを感じる建物になっています。



つれづれ……

「第3波到来で医療崩壊目前」というニュースの中、今号は作成されました。看護職でも“もういい加減にして…!”と怒ったり、ネガティブになったりしてもいいと思うのです。ただ、その感情に埋没して自分を傷つけたりしないようにと願います。世界が新型コロナと闘っています。いろいろな場所で働く看護職が、何をして、どう感じているかを共有することから始めたいと思いました。みんなで耐えていきましょう…!

佐藤 浩子



ナースバンク東京 東京都看護協会会館2階

所在地: 新宿区西新宿 4-2-19

- 都営大江戸線 西新宿五丁目駅 出口A1・A2から徒歩4分
- 東京メトロ丸ノ内線 西新宿駅 2番出口から徒歩10分

ナースバンク立川

所在地: 立川市曙町 1-21-1 ユニゾ立川ビル 6階

- JR中央線・青梅線・南武線 立川駅北口から徒歩7分
- 多摩都市モノレール線 立川北駅から徒歩7分

東京都ナースプラザ

検索

ホームページ

<https://www.np-tokyo.jp/>

Eメール

np@np-tokyo.jp

